

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】 近畿財務局長
【提出日】 平成24年6月28日
【事業年度】 第65期（自平成22年4月1日 至平成23年3月31日）
【会社名】 株式会社 サッパボイラ
【英訳名】 Sappa Iron Works, Ltd.
【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 颯波 基一
【本店の所在の場所】 大阪市北区中津三丁目25番16号
【電話番号】 06-6371-0433
【事務連絡者氏名】 取締役 颯波 樟三
【最寄りの連絡場所】 大阪市北区中津三丁目25番16号
【電話番号】 06-6371-0433
【事務連絡者氏名】 取締役 颯波 樟三
【縦覧に供する場所】 該当事項はありません。

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成23年6月29日に提出いたしました第65期（自平成22年4月1日至平成23年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

3【事業の内容】

(2)不動産賃貸部門

(3)事業の系統図

不動産賃貸部門

5【従業員の状況】

(1)提出会社の状況

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1)業績

2【生産、受注及び販売の状況】

(1)生産実績

(2)受注実績

(3)販売実績

第3【設備の状況】

2【主要な設備の状況】

(1)提出会社

第5【経理の状況】

【注記事項】

(セグメント情報等)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

(訂正前)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

3【事業の内容】

(2)不動産賃貸部門

(3)事業の系統図

不動産賃貸部門

5【従業員の状況】

(1)提出会社の状況

(平成23年3月31日現在)

従業員数(人)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
6	48.33	18.15	5,825,056

記載なし

(注)1.当社は連結子会社を有しておりませんので、当社の従業員の状況であります。

2.臨時従業員はいません。

3.平均年間給与は、賞与及び基準外賃金を含んでおりません。

4.記載なし

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1)業績

当期における我が国経済は、特に中小企業にとりましては百年に一度と言われた不況は深刻さをさらに深める状況になった感があります。

このような状況のもと当社としましては、特に蒸気機関車用ボイラーの復元工事の受注が1基、修繕工事の受注が2基、また大型の省エネボイラーが1基の製作、据え付け、配管工事等の、非常に多忙な1年でありました。従って当事業年度の売上高は、321,592千円（前年同期比9.0%増）となり、経常利益は61,141千円（前年同期比4.1%減）、当期純利益は39,032千円（前年同期比6.8%増）となりました。

なお、事業の部門別状況は次のとおりです。

ボイラー部門の売上は263,031千円（前年同期比11.8%増）であり、不動産賃貸収益は、マンションの賃貸収入50,391千円（前年同期比0.9%減）、モータープール賃料収入が8,168千円（前年同期比6.9%減）、合計58,560千円（前年同期比1.8%減）であります。

2【生産、受注及び販売の状況】

(1)生産実績

事業の種類別に示すと次のようになります。(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

事業の種類	金額(千円)	前期比(%)
ボイラー部門	155,672	132.7

(注)金額は製造原価で示しており、消費税等は含まれておりません。

(2)受注実績

事業の種類別に示すと次のようになります。(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

事業の種類	受注高(千円)	前期比(%)	受注残高(千円)	前期比(%)
ボイラー部門	117,469	59.31	55,000	72.57

(注)金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

事業の種類別に示すと次のようになります。(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

事業の種類	金額(千円)	前期比(%)
ボイラー部門	263,031	111.80
計	263,031	111.80
マンション	50,391	99.08
モータープール	8,168	93.02
計	58,559	98.19
総計	321,592	109.05

(注)1.金額には消費税等は含まれておりません。

第3【設備の状況】

2【主要な設備の状況】

(1) 提出会社

(平成23年3月31日現在)

事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の内容	帳簿価額(千円)					従業員 数(人)
			建物及び 構築物	機械及び 装置	土地 (面積㎡)	その他	合計	
本社及び 本社工場 (大阪市北 区)	ボイラー 事業部門	生産設備 本社機能 販売業務	3,741	1,373	178,397 (1860.11)	1,143	184,655	4
賃貸用 マンション (大阪市北 区)	不動産 賃貸部門	賃貸用 不動産	262,216		1,811 (899.79)	84	264,112	1 (兼任)
東京支店 (神奈川県 茅ヶ崎市)	ボイラー 事業部門	販売業務				454	454	1

(注)1.現在休止中の主要な設備はありません。

2.上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3.東京支店は有限会社共英より賃借しており、面積は12.5㎡であります。

4.上記の他、主要な設備のうち賃借している設備の内容は、下記のとおりであります。

事業所名(所在地)	事業部門名称	設備の内容	年間リース料 (千円)	リース契約残高 (千円)
本社及び 本社工場	ボイラー事業部門	生産設備 本社機能 販売業務	84	203

第5【経理の状況】

【注記事項】

(セグメント情報等)

記載なし

(訂正後)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

3【事業の内容】

(2) 不動産部門

(3) 事業の系統図

不動産部門

5【従業員の状況】

(1) 提出会社の状況(平成23年3月31日現在)

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)	平均年間給与(円)
6	48.33	18.15	5,825,056
セグメントの名称		従業員数(名)	
ボイラー部門		5	
不動産部門		1	
全社(共通)		1	
合計		6	

- (注) 1. 当社は連結子会社を有しておりませんので、当社の就業人員の状況であります。
2. 臨時従業員はいません。
3. 平均年間給与は賞与及び基準外賃金を含んでおりません。
4. 部門を兼務している従業員がおります。

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1)業績

当期における我が国経済は、特に中小企業にとりましては百年に一度と言われた不況は深刻さをさらに深める状況になった感があります。

このような状況のもと当社としましては、特に蒸気機関車用ボイラーの復元工事の受注が1基、修繕工事の受注が2基、また大型の省エネボイラーが1基の製作、据え付け、配管工事等の、非常に多忙な1年でありました、従って当事業年度の売上高は、321,592千円（前年同期比9.0%増）となり、経常利益は61,141千円（前年同期比4.1%減）、当期純利益は39,032千円（前年同期比6.8%増）となりました。

また、セグメントの業績は次のとおりであります。

(ボイラー部門)

当セグメントにおきましては、売上高は263,031千円（前年同期比11.8%増）であり、セグメント利益（営業利益）は、69,265千円（前年同期比17.7%増）であります。

(不動産部門)

当セグメントにおきましては、売上高は58,560千円（前年同期比1.8%減）であり、セグメント利益（営業利益）は27,054千円（前年同期比17.4%減）であります。

2【生産、受注及び販売の状況】

(1)生産実績

当事業年度における生産実績をセグメントで示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同期比（％）
ボイラー部門	155,672	132.7
合計	155,672	132.7

(注) 金額は製造原価で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2)受注実績

当事業年度における受注実績をセグメントで示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比（％）	受注残高（千円）	前年同期比（％）
ボイラー部門	117,469	59.31	55,000	72.57
合計	117,469	59.31	55,000	72.57

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

(3)販売実績

当事業年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同期比（％）
ボイラー部門	263,031	111.80
不動産部門	58,560	98.19
合計	321,592	109.05

(注) 金額には消費税等は含まれておりません。

第3【設備の状況】

2【主要な設備の状況】

(1)提出会社

(平成23年3月31日現在)

事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	帳簿価額（千円）					従業員 数(人)
			建物及び 構築物	機械及び 装置	土地 (面積㎡)	その他	合計	
本社及び 本社工場 (大阪市北 区)	ボイラー 部門	生産設備 本社機能 販売業務	3,741	1,373	178,397 (1860.11)	1,143	184,655	4
賃貸用 マンション (大阪市北 区)	不動産 部門	賃貸用 不動産	262,216		1,811 (899.79)	84	264,112	1 (兼任)
東京支店 (神奈川県 茅ヶ崎市)	ボイラー 部門	販売業務				454	454	1

(注) 1. 現在休止中の主要な設備はありません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 東京支店は有限会社共英より賃借しており、面積は12.5㎡であります。
4. 上記の他、主要な設備のうち賃借している設備の内容は、下記のとおりであります。

事業所名(所在地)	セグメントの名称	設備の内容	年間リース料 (千円)	リース契約残高 (千円)
本社及び 本社工場	ボイラー部門	生産設備 本社機能 販売業務	84	203

第5【経理の状況】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は「ボイラー部門」及び「不動産部門」を展開しており、製品・サービス別の区分により経営を管理しております。従って当社における事業セグメントは、製品・サービス別セグメントにより識別しており、「ボイラー部門」及び「不動産部門」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

ボイラー部門においては、汽罐及び付属品の製造、販売並びに据付、解体、配管工事請負を実施しております。

「不動産部門」においては、マンションの賃貸及びモータープールの経営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 前事業年度(自平成21年4月1日至平成22年3月31日) (単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表 計上額
	ボイラー部門	不動産部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	235,265	59,637	294,903		294,903
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	235,265	59,637	294,903		294,903
セグメント利益	58,814	32,791	91,605	19,682	71,923
セグメント資産	307,810	274,023	581,833	56,243	638,077
セグメント負債	288,196	68,592	356,789	30,134	386,924
その他の項目					
減価償却費	2,018	9,272	11,291		11,291
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額					

(注)1. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、現金預金56,243千円が主なものであります。

2. セグメント負債の調整額は、各報告セグメントに配分していない未払法人税等20,893千円及び未払消費税等4,899千円が主なものであります。

当事業年度(自平成22年4月1日至平成23年3月31日) (単位:千円)

	報告セグメント			調整額	財務諸表 計上額
	ボイラー部門	不動産部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	263,031	58,560	321,592		321,592
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	263,031	58,560	321,592		321,592
セグメント利益	69,265	27,054	96,320	28,127	68,193
セグメント資産	262,045	268,248	530,293	79,513	609,806
セグメント負債	244,621	58,033	302,655	16,966	319,621
その他の項目					
減価償却費	1,519	9,208	10,728		10,728
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,730		3,730		3,730

(注)1. セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、現金預金77,296千円が主なものであります。

2. セグメント負債の調整額は、各報告セグメントに配分していない未払法人税等13,231千円が主なものであります。

【関連情報】

当事業年度（自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

「セグメント情報」3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報」に記載のとおりであります。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
東日本旅客鉄道(株)	96,578	ボイラー部門
三井不動産住宅リース(株)	46,515	不動産部門

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当事業年度（自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当事業年度（自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当事業年度（自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日）

該当事項はありません。

(追加情報)

当事業年度より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年 3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年 3月21日）を適用しております。